

平成１６年度西栗倉村公営企業会計決算審査意見書

地方公営企業法第３０条第２項の規定により、村長から提出された平成１６年度西栗倉村公営企業会計決算書並びに関係帳簿証書類を審査したので、下記のとおり意見書を提出します。

平成１７年６月１日

西栗倉村長 道上正寿 殿

西栗倉村議会議長 青木秀樹 殿

西栗倉村代表監査委員 井上吉男

同 監査委員 上山完治

記

１．審査の日時 平成１７年５月１７日(火) １日間

２．審査の場所 西栗倉村役場 ２階会議室
 森の村振興公社 ２階会議室

３．審査の対象

平成１６年度西栗倉村公営企業（レストセンターあわくらんど事業・農業集落排水事業）会計決算報告書、財務諸表、決算付属書、関係帳簿及び証書類。

４．審査に立会した者

公社事務局長 上山隆浩 公社係長 山本真樹 あわくらんど店長 東 光一

産業建設課長 林 正之 同主事 井上大輔

５．決算審査の留意点

公営企業の運営が、経済性及び公共性という経営の基本原則に従っているかどうかについて、次の点に留意して審査した。

イ 決算書類の計数の正否について関係帳簿と照合して審査をした。

ロ 決算報告書の決算額と財務諸表の決算額とが符合しているかどうかを審査し、決算計数の正確性を検証した。

- ハ 財務諸表が経営成績、財政状態を適正に表示しているか、即ち真実性の原則にたっているか等について審査した。
- ニ 帳簿、証書類の記帳と保管、預金通帳の確認と保管等についても審査した。
- ホ 経営、運営上の課題等について意見を求めた。

6. 審査の結果

< 決算計数について >

上記の事項について、特に留意して審査の対象に基づき、担当者より説明を求め、各種の帳簿・台帳の開示を求め、決算報告書の決算額と財務諸表（損益計算書、貸借対照表）を突合して審査したところ西粟倉村公営企業会計（2会計）の決算計数はいずれも符合しており、誤りのないことを認める。

【西粟倉村レストセンターあわくらんど事業会計】

（1）経営成績

イ、収益的収入及び支出（ ）は前年度

決算収入額	233,502,014円	(301,401,503円)
決算支出額	250,110,215円	(310,012,515円)

ロ、事業収入

年 度	平成15年度	平成16年度	前 年 比	(対前年比率)
事業収益	287,097,398円	222,439,016円	64,658,382円	(77.5%)
事業費用	296,689,940円	239,145,781円	57,544,159円	(80.6%)
経常損失	9,592,542円	16,706,765円	7,114,223円	
レストラン利用客数	128,242人	102,256人	25,986人	
営業日数	365日	364日	1日	

【個別決算審査意見】

事業収益が前年より64,658,382円の減で(対前年比77.5%)と落ち込んだ。

それに対して事業費用が前年より57,544,159円減で(対前年80.6%)と努力の跡は認められる。

八、経理の状況

(単位:千円)

事業収益の内訳				事業費用の内訳			
年 度	15年度	16年度	前年比	年 度	15年度	16年度	前年比
食 事 飲 料	116,923	84,617	72.4	食 事 材 料	34,503	25,049	72.6
売 店 収 益	127,601	95,461	74.8	飲 料 材 料	6,055	3,242	53.5
そ の 他	42,548	42,272	99.4	売 店 材 料	90,666	72,467	80.0
営 業 外 収 益	25	89	356.0	人 件 費	97,253	81,385	83.7
合 計	287,097	222,439	77.5	その他経費	66,262	55,522	83.8
				営 業 外 費 用	1,951	1,480	75.9
				合 計	296,690	239,145	80.6

【個別決算審査意見】

事業収益が大幅に落ち込んでいる内容は。

- ・ 食事飲料売上が84,617千円で(前年比72.4%)と大幅な落ち込みである。
- ・ 売店収益が前年より32,140千円(前年比74.8)と大きく減額している。この要因を検討し改善する必要がある。

営業費用の大幅な減額は、人件費、その他経費などに努力の跡が伺える。

- ・ 野菜売上全体は、125,083千円(前年は136,330千円で11,247千円減額前年対比91.8 %)、

この内、村内生産者の一般の売り上げは22,431千円(前年は24,423千円)

1,992千円で対前年比91.8%である。

- ・ 営業費用で伸び率の高いものは光熱水費等などである。

(2) 財政状況

イ 流動比率(流動資産と流動負債との対比)

流動資産95,120千円に対して流動負債10,669千円で流動化率約891%となり、当施設の短期健全性は確保されていると思います。

(95,120千円 ÷ 10,669千円 × 100)

ロ 現金・預金の内訳

(平成17年3月31日現在)

中銀 普通	17,394,297円	局 普通	120,460円
中銀 定期	30,000,000円	局 定額	2,000,000円
中銀 積立	24,000,000円	局 定額	2,000,000円
農協 普通	3,596,511円	局 定額	6,000,000円
		小口現金	1,230,000円
合 計			86,341,268円

上記のとおり銀行残高証明書及び預金通帳等照合して確認する。貸借対照表の現金・預金の金額86,341,268円と一致したことを認める。

ハ 貯蔵品について

売店材料	3,759,331円	食事材料	540,848円
飲料材料	264,859円	その他貯蔵品	67,968円
		合 計	4,633,006円

上記のとおり決算棚卸し表にて確認する。

ニ 平成16年度あわくらんど事業剰余金処分計算書（案）について

当年度未処理欠損金 25,271,489円

欠損金処理額 25,271,489円

翌年度繰越欠損金 0円

上記のとおりとなっている。

（３）経営分析

イ、営業収支比率（収益と費用との対比）

年 度	10年度	11年度	12年度	13年度	14年度	15年度	16年度
指 数	104.0	102.1	101.2	99.6	97.5	97.4	93.4

（本年度収益）（本年度費用）

（ 233,502千円 ÷ 250,110千円 × 100）

【個別決算審査意見】

企業経営上端的に表す指標としての営業収支比率は12年度までは100%前後を推移していたが13年度からは順次下降傾向をたどり厳しい状況である。

しかし、企業間で相互補完し合う経理上生じた結果も影響していると判断している。

（４）企業債及び一時借入金

前年度末残高	28,466,662円
本年度借入高	0円
本年度償還高	8,133,332円
本年度末残高	20,333,330円
一時借入金	なし

（５）固定資産明細

年度当初現在高	272,288,143円
当年度増加額	1,971,274円
当年度減少額	0円
年度末現在高	274,259,417円
減価償却累計額	91,753,765円
年度末償却未済高	182,505,652円

【個別決算審査意見】

固定資産増加額として汚水流量調整槽周辺路面整備等 1,971,274円

(5) 総括決算審査意見

イ 昨年に引き続いて 中売店のレイアウト改善を適時行っているが売店収益が伸びていない結果となった。

ロ 「道の駅」としての当施設の使命は利用者の休憩と安堵感の提供であり、周辺の環境整備と、トイレ等施設の清潔感の維持に配慮することが必要です。

しかし、トイレについては老朽化が進み思い切った改善が必要と思われます。

ハ メニューの研究、営業活動の充実、社員の職場研修といった目標達成に更なる努力を期待します。

ニ 当施設は創立以来本村の公営企業の中核として経営も比較的安定し成果を上げています。この事に対して関係職員の努力に敬意を表します。

ホ 個人消費の買い控え傾向の上に、他市との競合施設、旬の里との共存共栄といった課題の克服に、職員は勿論地域住民一体となって頑張りたいものと思います。

ヘ 開業後、「道の駅」として多くの客から愛されているこの施設はいろいろ克服すべき課題はありますが、更に発展することを願って前段の個別決算審査意見とあわせて総括決算審査意見と致します。

〔 西栗倉村農業集落排水事業会計 〕

(1) 経営成績

イ 収益的収入及び支出 () 前年度

決算収入額	82,802,400円	(94,024,285円)
決算支出額	82,587,031円	(93,354,707円)

ロ 資本的収入と支出

資本的収入	134,237,000円	(39,536,000円)
資本的支出	166,339,411円	(70,962,983円)

八 営業収益と営業費用の年度別推移

年 度	平成14年度	平成15年度	平成16年度
営業収益	24,939,820円	24,769,185円	27,531,400円
営業費用	66,624,412円	61,394,866円	58,657,048円
営業損失	41,684,592円	36,625,681円	31,125,648円

【個別決算審査意見】

営業費用が前年より2,737,818円減額となっている。これは処理場費と総務費が減額したためである。営業損失額も年々少なくなって来ている。

二 営業外収益と営業外費用の年度別推移

年 度	平成14年度	平成15年度	平成16年度
営業外収益	74,698,553円	69,255,100円	55,271,000円
営業外費用	32,314,786円	31,959,841円	23,929,983円
営業外利益	42,383,767円	37,295,259円	31,341,017円
当年度純利益	699,175円	669,578円	215,369円
前年度繰り越し利益剰余金	252,010円	951,185円	1,620,763円
当年度未処分利益剰余金	951,185円	1,620,763円	1,836,132円

ホ 剰余金処分計算書（案）について

翌年度繰り越し利益剰余金1,836,132円は(案)のとおり処分が適当と思う。

(2) 財政状態

イ 流動比率(流動資産と流動負債との対比)

年度	8年度	9年度	10年度	11年度	12年度	13年度	14年度	15年度
指数	301%	113%	363%	99.2%	101%	101%	105%	121%
年度	16年度	(流動資産) (流動負債)						
指数	102%	(本年度108,275千円 ÷ 106,459千円 × 100)						

(3) 経営分析

イ 営業収支比率

年度	8年度	9年度	10年度	11年度	12年度	13年度	14年度	15年度
指数	14.37	25.59	26.71	30.21	30.48	35.30	37.43	40.34
年度	16年	(営業収益) (営業費用)						
指数	46.94	(本年度27,531千円 ÷ 58,657千円 × 100)						

【個別決算審査意見】

- ・ 下水道供用率の向上と使用料が上がり、営業収支比率も 僅か上がっている。
- ・ 接続済み公共マスは年度当初より8戸の新規加入により499個となっている。
- ・ 定住人口1,704人(区域人口1,715人)に対して水洗化人口1,368人で水洗化率79.8%となっている。早期つなぎこみの啓蒙活動を進める必要があります。

(4) 企業債の償還について

償還金の見込み

前年度末残高	580,776,847円	17年度	62,853.960円
本年度借入高	30,400,000円	20年度より	38,360,824円
本年度償還高	58,171,645円	31年度まで	38,360,824円
本年度末残高	553,005,202円	35年度より	16,396,786円

【個別決算審査意見】

企業債償還のピークは平成17年度までで、平成18年度より47,882千円余りで推移し20年度より38,360千円となる見込みである。

(5) 担当課及び担当者の所見等について

- ・ 当初より比較すれば下水道使用のマナーは引き続き向上している。
- ・ 平成15年度決算審査において述べていた処理場の攪拌装置の改良及び、ゴミ除去装置の改善を行った。
- ・ 平成15年度決算審査において述べていた生ゴミ及び汚泥の処理工事の施工を行い、平成17年度より処理場にて肥料を生産し、農地還元を行う。
- ・ 料金計算の電算化により、事務の効率化を図った。
- ・ 供用開始10年が経過し、今後ポンプ類等機器の故障が増え、修繕費等が増加すると考えられる。
- ・ リストンター-あわくらんどの下水道つなぎ込みを行った。
- ・ 下水道加入率が約80%であるが、今後いっそうの加入促進を行いたい。
- ・ 今後も放流水の水質管理に努め、環境保全に寄与する。
- ・ 下水道使用料長期滞納者の対応策を考えたい。

(6) 総括決算審査意見

- ・ 少人数で施設の維持管理等日常の勤務に対して敬意を表します。特に冬季の管理には十分安全に気を付けて勤務して下さい。
- ・ 前年度と比較し、処理場費が3,109千円、総務費が877千円減額となっている。
- ・ 管渠費総額が714千円増額となっているマンホールポンプ保守点検、修理によると思います。

- ・ 資本的支出として建設改良費 108,167,766円 3件の新設工事を施工している。
内訳：処理場攪拌装置の改良、ごみの除去装置の改善、窒素濃度の自動測定装置の設置、汚泥処理機と生ゴミ処理機を導入、取付管新設工事3件を施工。
生ゴミを再生し肥料として農地還元する事は、あらゆる面から歓迎される事です、大いに活用したいものです。
- ・ 下水道使用料滞納者については、村内在住者は全て解消され改善が見られます。
- ・ 自然環境、特に河川の浄化、産業廃棄物の処理等について、担当課関係機関との連携を深め清流の村としての自覚をもつよう、機会をとらえて啓蒙に努めて下さい。

以上、 前段の個別決算審査意見とあわせて総括決算審査意見と致します。